

脱原発・放射能汚染を考える

関西電力は、大飯・高浜原発の稼働を停止せよ！ 安倍政権は東京オリンピックで、福島原発事故を隠蔽し犠牲を強要するな！

関電は、大飯原発3・4号機を再稼働する条件とした、「使用済核燃料廃棄物の県外移転計画を2018年中に決定する」という約束は守れなかった。福井県知事はこの約束違反に対して、大飯原発の再稼働の許可を取り消すべきである。そして関電は、これ以上の使用済核燃料廃棄物を作らないためにも全ての原発の稼働を停止すべきだ。

60年前から使用済燃料の処理は破綻

1963年に東海村で試験炉が発電を開始し、1965年に東海原発が商業炉として稼働した。同原発は1998年に廃炉となったが、ようやく今年に原子炉の解体が予定されている。しかし何万年もかかる放射性廃棄物の恒久処理・隔離・管理は、まだ方針すら未定である。原発は後始末を考えないことで成立してきた無責任な技術システムである。

混乱する経団連会長の原発発言

経団連の中西会長(日立製作所)は年初の会見で、「国民が反対するものは作れない。エネ業者や設備業者が無理に作ることは民主国家ではない」と発言した。今までは安倍政権と一体となって原発を推進してきた経団連会長の「正直」な発言である。ところが中西氏、安倍首相に怒られたのか、15日の記者会見では「原発再稼働や新增設はどんどんやるべき」と主張した。

はっきりしたことは、安倍政権の成長政策の柱であった「原発輸出」が総崩れとなったこと、国内でも「再稼働」は強行できても原発の新增設は絶望的であり、核燃料サイクルは既に破綻している。政策の転換が出来ないから惰性で進むというのは、政策の失敗の責任を取らない官僚と政権与党の醜態である。それが太平洋戦争の敗北を引き伸ばし、多数の犠牲者を生み出したのである。

小出裕章さんの「フクシマ事故と東京オリンピック」 世界各国のオリンピック委員会に提出

福島原発事故を隠ぺいし、住民に被曝を強要しながら、東京オリンピックの準備が進められている。今回、小出さんは知人の依頼で「フクシマ事故と東京オリンピック」を書き、昨年10月2日に、世界各国のオリンピック委員会に「緊急声明」が提出された。その最後の一部を紹介する。

「オリンピックはいつの時代も国威発揚に利用されてきた。…今大切なのは、「原子力緊急事態宣言」を一刻も早く解除できるよう、国の総力を挙げて働くことである。フクシマ事故の下で苦しみ続けている人たちの救済こそ、最優先の課題であり、少なくとも罪のない子どもたちを被曝から守らなければならない。それにも拘わらず、この国はオリンピックが大切だという。…フクシマを忘れさせるため、マスコミは今後ますますオリンピック熱を流し、オリンピックに反対する輩は非国民だと言われる時が来るだろう。…しかし、罪のない人を棄民したままオリンピックが大切だという国なら、私は喜んで非国民になろうと思う。

原子力緊急事態宣言下の国で開かれる東京オリンピック。それに参加する国や人々は、もちろん一方では被曝の危険を負うが、一方では、この国の犯罪に加担する役割を果たすことになる。」

小出さんは明確に東京オリンピックに反対し、参加することの危険性と同時に、そのことが福島原発被害者への安倍政権の犯罪に加担することであることを世界に向けて指摘している。全面的に賛同する。

小出さんの「緊急声明」を支持する団体・個人の思いを、支持声明として世界各国のオリンピック委員会に提出することが呼びかけられている。

賛同される方は、「使い捨て時代を考える会」山田晴美さんまで。

メール hasihime@nifty.com に団体名、個人名(ローマ字も)

小出さんの文書全文と提出された英訳文は

<http://www.go.tvn.ne.jp/~koide/Hiroaki/remark/olympic.htm>

報告 中間貯蔵・乾式貯蔵はいらない！ 原発の運転停止を！ 学習会 福井県知事は、大飯3・4号露の運転再開了承を取消せ



学習会は1月20日に「避難計画を案ずる連絡会」の主催で、約50人の参加で開かれた。福井知事への「要望書」への賛同団体が40都道府県272団体となったことが報告され、これまでの活動報告と乾式貯蔵について報告され、申し入れ活動を論議。

関電の約束違反と福井県内の動き

約束を破った関電は、12月26日に、わずか15分の面談で、「2020年を念頭に県外の計画地点を確定する」と約束し、知事は、「社長の決意が示されたと理解する」と評価し、約束違反には触れなかった。

原子力発電に反対する福井県民会議は

直ちに抗議声明を出した。西川知事は40年超え運転は、中間貯蔵施設の立地計画の進展を見極めて判断すると発言した。

敷地内での「乾式貯蔵」はゴミ捨て場

規制委は乾式保管を促進しようとしている。乾式貯蔵は使用済み燃料を5年ほど冷却後、金属容器(キャスク)に密封し自然循環の空気で冷やすというもの。大型の金属装置なのに設置したら約50年間は密閉したままで定期検査もなく放置される。50年後にこのキャスクを引き受ける場所はなく、危険なままゴミ捨て場にされる。決して認めることは出来ない。

1月25日に福井県知事に要望書提出！

原発1基分の洋上風力を銚子沖に (1/1) 読売

東京電力は銚子沖に100万kwを超える洋上風力発電所(着床式)を建設する計画である。実績が豊富な欧州の企業と提携し1兆円規模の事業費を投入して、5000kw級を約200基建設する。政府の洋上風力促進法で建設し、FIT(固定買い取り制度)を利用する予定である。

2030年の原発比率 20~22%は困難に (1/1) 朝日

政府の目標の「2030年に原発の割合を20~22%」の達成は困難となっている。この1年余りで8基の原発が廃炉方針となり、建設中の含む全て37基が稼働しても22%を下回る。また16基は30年には40年の期限を向かえ、安全対策費用の負担からいっても廃炉の可能性も強い。

東海第2/原電社長が地元協定めぐり謝罪 (1/10) 日経

昨年11月に原電は地元6市村と「安全協定」を締結した。その交渉の中で、「新協定で事前了解の権限」を認めた。そして原発運転の20年延長を申請し、認可された。ところが認可されると、副社長が「『拒否権』はない」と発言して6市村と対立していた。1月10日に原電社長は茨城県を訪れて、「『拒否権』はない」発言を撤回し謝罪した。ただし、『拒否権』の存在の確認はせず、「納得いただけるまで協議を続ける」と述べるにとどめた。

首相の嘘「サンゴ移し土砂投入」発言 (1/10) 毎日他

1月6日のNHK「日曜討論」で、安倍首相は「土砂投入にあたってあそこのサンゴは移している」と述べ、土砂投入でサンゴ礁を傷つけていないような嘘を発言した。

実際は今回土砂投入区域外にある絶滅危惧種のオキナワハマサンゴ9群体だけが移植されているにすぎない。それ以外の約7万4000群体のうち約4万群体の移植許可を、ようやく昨年12月に申請したが、県は「移植対象、移転先の選定が不適切」としてまだ許可していない。

菅官房長官は、首相の嘘をごまかすために、もっと大きな嘘「辺野古側の埋め立て区域に生息していた移植対象のサンゴは全て移植しており・・・」と発言している。

トランプ大統領顔負けのフェイクニュースの発信源である。

中国人強制連行大阪・花岡国賠訴訟 1月29日の判決公判を傍聴しよう

中国人被害者に、「訴求権なし」という「4・27 西松最高裁判決」が立ち上がる中で、大阪・花岡国賠訴訟は3年間闘われてきた。十数度にわたる口頭弁論を開催させ、中国からの原告の訪日と証言が実現され、客観的に見るなら裁判は勝利するはずである。しかし「楽観」は許されない。最後まで法廷を埋め尽くす原告と傍聴者の力によって、「司法」の公正を取り戻そう！

判決公判 日時:2019年1月29日(火) 11:00

場所:大阪地裁 202 大法廷

判決後、弁護士開館にて報告集会 11:30~13:00

2/2 今だから語りたい！ 森友問題の「真実」

森友問題は何も終わっていない。安倍首相夫妻、麻生、そして松井府知事も責任をとっていない。

今回は森友問題をスクープしてNHKを追われた相沢さんと、近畿財務局元職員の皆さんを招いて対談が行われる。隠された「真実」が明らかにされる。

日時:2月2日(土)19:00~

場所:アクア文化ホール

(阪急宝塚線「曾根」下車)

今だから語りたい！
森友問題の「真実」

森友問題をスクープしたことでNHK記者を辞職せざるを得なくなった相沢真樹さんと、財務省から近畿財務局まで転任し、自ら追いついた近畿財務局元職員の皆さんが、今だから語れる森友問題の「真実」を存分に語っていただきます。

相澤真樹さん
(NHK記者、現大阪毎日新聞記者)

木村真
(近畿財務局元職員、現大阪毎日記者)

山本いつく
(近畿財務局元職員、現大阪毎日記者)

対談者: 相澤真樹さん、木村真さん、山本いつくさん

※日時: 2019年2月2日(土) 19:00~(開演18:30)

※会場: アクア文化ホール (豊中市立文化芸術センター 中央ホール) 阪急「曾根」駅より徒歩5分

※参加費: 500円 (前売: 400円、学生: 300円、中学生以下: 200円)

※主催: 森友学園問題を考える会 連絡先: TEL/FAX 06-6844-2280

※Facebook: 森友学園問題を考える会

森友問題を考える会

2/11 「戦争する国」も「神の国」もゴメンだ！ 主催: 「日の丸・君が代」強制反対大阪ネットワーク

日時: 2019年2月11日 13時~

場所: 大淀コミュニティセンター

(地下鉄谷町線「天六」下車⑩出口 北西へ)

集会後梅田までデモ行進(予定)を行います

沖縄辺野古への土砂投入中止を目指して広がる行動

新年も続く埋立て反対の闘い

2019年の元旦に、辺野古の浜で約300人が参加した「初興し」(はちうくし) = 「仕事始め」が行われた。琉球舞踊、三線などが披露され、土砂投入をやめさせ、新基地建設を阻止する闘いの決意が述べられた。

5日には、今年初の辺野古ゲート前大行動が、1000人を越える県民の参加で開かれ闘いが開始された。

沖縄防衛局は10日午前、埋め立て予定区域への土砂投入を続行した。台船に積まれた土砂を重機でトラックに移し、15台のトラックが土砂投入を行った。沖合いには4隻の台船が待機し、土砂運搬船から台船に土砂を移載して準備を行っていた。10日には、辺野古新基地建設反対のカヌー隊10艇も台船の周囲に展開して、土砂の投入に抗議した。



辺野古の浜で「初興し」(1日)



カヌー10隻で台船に抗議(10日)



ホワイトハウス前で R.梶原さん

世界に広がる請願署名

世界で「沖縄県民投票まで埋立て工事停止を求める請願署名」が展開されている。8日には20万筆を越えた。この請願行動は沖縄県出身4世のロバート梶原さんが呼びかけた米ホワイトハウス向けの請願署名である。日本でもタレントのローラさん、りゅうちるさん、ラサール石井さん、平野啓一郎さん、英ロックバンド「クイーン」のブライアン・メイさん等著名人が参加し世界に広がっている。

所ジョージさんもYouTubeで辺野古を歌う

TVの人気者の所ジョージさんが、年末年始に辺野古新基地現場を訪れ、「アメリカの飛行機アメリカに降りてよ・・・」など基地についての三線での弾き語りをユーチューブにアップした。若者に辺野古問題が伝わる！